

vol.2 現代音楽と未来への《関》

かん

弦楽四重奏 × 現代音楽

わたしたちはどこから来て、どこに行こうとしているのか

小出稚子が今回のコンサートのために三上山(近江富士)を登山して書き上げた委嘱作品、21世紀を目前にした1999年に20世紀が歩んだ歴史に想いを馳せて書かれ、初演のクロノス・クアルテットをグラミー賞最優秀室内楽パフォーマンス賞ノミネートに導いたヴァスクスの弦楽四重奏曲第4番など、作曲家が描いた自由と未来を弦楽四重奏でお贈りします。

曲目

アルフレッド・シュニトケ — 弦楽四重奏曲第3番

三善晃 — 弦楽四重奏曲第1番

小出稚子 — 弦楽四重奏曲「栖」
委嘱新作・世界初演

ペトリス・ヴァスクス — 弦楽四重奏曲第4番

出演

ルリトラノオ弦楽四重奏団

亀井庸州 (ヴァイオリン)

松岡麻衣子 (ヴァイオリン)

安田貴裕 (ヴァイオリン)

竹本聖子 (チェロ)

チケット 一般 3,000円 | 24歳以下 1,500円 (消費税10%込)
全席自由 [発売日:8月10日(土)]

チケット ▶ びわ湖ホールチケットセンター(窓口販売、現金のみ)
取り扱い (10:00~19:00 火曜日休館、休日の場合は翌日 8/13~18は休館) TEL.077-523-7136
▶ びわ湖芸術文化財団オンラインチケット <https://biwako-arts.tstar.jp/>
▶ ローソンチケット Lコード 55508

主催 — 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀
協力 — スティマー・ザール、どうぶつおんがくたい、京都市立芸術大学現代音楽研究会club MoCo
後援 — 滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、守山市、守山市教育委員会

お問い合わせ — 公益財団法人びわ湖芸術文化財団 地域創造部
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1 ☎ 077-523-7146

このコンサートは、サントリー芸術財団佐治敏三賞推薦コンサートです。
第54回滋賀県芸術文化祭参加事業

公演詳細



日時 2024 11 / 9 (土) 14:00 開演
[13:30 開場]

会場 スティマー・ザール 滋賀県守山市 勝部5-2-62



小出 稚子 KOIDE Noriko



亀井 庸州 KAMEI Yoshu



松岡 麻衣子 MATSUOKA Maiko



安田 貴裕 YASUDA Takahiro



竹本 聖子 TAKEMOTO Seiko

現代音楽×弦楽四重奏

の切り口で新しい表現に挑戦するコンサート・

シリーズ。毎回、現代音楽界をけん引する旬の作曲家が、近江・滋賀をテーマにした新曲を発表。

近江は古来から東西の地域を結ぶ交通の要衝。副題の《関(かん)》は、関所、入り口のこと、道のりを歩いていく過程で様々な関門を通過した先に開かれる音楽をイメージしてお贈りします。そして、本企画のために結成した現代音楽のスペシャリストで構成するルリトラノオ弦楽四重奏団が、レジデント・アーティストとして現代音楽と近江・滋賀をつなぎます。

びわ湖・アーティスト・みんぐる

2024年11月9日(土)

14:00 開演 / 13:30 開場

C³ シーキューブ vol.2

現代音楽と未来への《関》



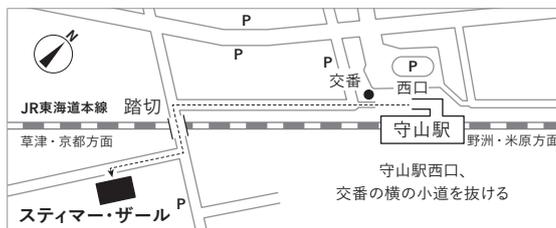
vol.2のテーマは、「現代音楽と未来への《関》」。わたしたちはどこから来て、どこに行こうとしているのか。それを問いかけ、時として答えを与えてくれるのが、先人が残してきたもの。今回の委嘱曲の題材は、近江富士と呼ばれる三上山。7000万年前の火山活動で形成された巨大カルデラの名残で、長い時間が作り上げた美しい山容は信仰の対象となり、その影響を受けながら営まれてきた人々の暮らしが今も息づいています。* 作曲家の小出稚子氏には、実際に三上山を登山し、身体全体で作曲の資料を収集いただきました。

また、会場のスティマー・ザールは、楽器の響きを追求したオーナーが、楽器の内部に聴衆と奏者がいるような状況が理想と考え設計された空間。人々が歩んだ歴史と独特の世界観で描かれる未来を、弦楽四重奏曲と調律された空間でお楽しみください。

*水田有夏志、湖東「巨大カルデラの名残」を歩く〜特集「湖国のトレイル〜山の過去・現在・未来を歩く」より、「湖国と文化」187号

会場 **スティマー・ザール**
滋賀県守山市勝部5-2-62

アクセス JR守山駅西口より徒歩5分(300m)
会場駐車場はございません。
近隣のコインパーキングをご利用ください。



プレコンサート 京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo × C³ ~「Ylang Ylang」に基づく変奏~

公演日 2024年10月13日(日) 15:00開演(14:30開場)

会場 スティマー・ザール(滋賀県守山市勝部5-2-62) 料金 無料

出演 京都市立芸術大学現代音楽研究会club MoCo

曲目 G.ビエルネ 民謡風ロンドの主題による序奏と変奏 / 酒井健治 メロディア・ラビーレ / A.シュニツケ Stille Nacht / 小出稚子 Ylang Ylang / 「Ylang Ylang」に基づく京都市立芸術大学作曲専攻生によるミニアチュール(世界初演) / G.フォーレ ピアノ五重奏曲第2番ハ短調(第一楽章のみ)

詳細は
こちらから



小出 稚子 〈作曲〉こいで・のりこ

第17回芥川作曲賞、第76回日本音楽コンクール作曲部門第2位と聴衆賞、2016年トシヨコ国際音楽祭アジア作曲家ショーケース・ゲート賞など受賞多数。国内外から委嘱を受けており、2022年BBC Radio 3の委嘱による《揺籠と糸引き雨》がBBC交響楽団により初演され、23年7月には本国のBBC Promsにて英国初演。2023年4月、名古屋フィルハーモニー交響楽団の第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。また、プロの音楽家と振付家による子どものためのパフォーマンス・グループ「どうぶつおんがくたい」としても活動。題材に即した柔軟な作曲スタイルや斬新なオーケストレーション、細やかな音形や特殊奏法などによって造られる音響のテクスチュアと色彩が、小出の作風を特徴づけている。

ルリトラノオ弦楽四重奏団

本企画のレジデント・アーティストとして現代音楽のスペシャリストにより結成。ルリトラノオは、滋賀県米原市の伊吹山山頂にのみ自生する瑠璃色をした虎の尾に似た花の名で、花言葉は「常に微笑みを持って」

亀井 庸州 〈ヴァイオリン〉かめい・ようしゅう

2000年ごろから主に同世代の作品初演を専門に活動を開始。東京音楽大学卒業後、ベルギー王立エージュ音楽院において、欧州の20世紀の音楽や即興演奏を学んだ。帰国後も引き続き同世代の作品初演に携わり、個人企画のほか、東京オペラシティ音楽財団、サントリー芸術財団、みなとみらいホール等の主催公演に出演し、内外の作曲家による室内楽、ソロ作品の初演、再演を中心として活動している。作曲家本人との共同作業にて初演した作品は100曲を超える。また、尺八においても演奏活動を行っており、劇伴作品としてNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」などへの音源提供を行っている。

松岡 麻衣子 〈ヴァイオリン〉まつおか・まいこ

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業、同大学研究科修了。IEMA(フランクフルト音楽・舞台芸術大学)にて研鑽を積む。アンサンブル・リネア、アンサンブル・モデルン等の現代音楽演奏団体で、世界各地の現代音楽祭やコンサートに出演。日本現代音楽協会主催・演奏コンクール「競奏XI」第2位。近現代作品の演奏を主軸に、17年結成のフィディアス・トリオ(クラリネット・ヴァイオリン・ピアノ)での活動、他ジャンルのアーティストのコラボレーションも意欲的に行っている。

安田 貴裕 〈ヴィオラ〉やすだ・たかひろ

東京音楽大学入学後、奨学金を得て州立フロリダ国際大学に入学。帰国後、同時代の作曲家と共に歩むことを主眼に活動を行ない、川上統氏作曲/ヴィオラと管弦楽のための「Cybele」の独奏ヴィオラなどをはじめ、40を上回る作品の初演に携わる。東京オペラシティ主催「コンポーザム」シリーズ、サントリーホール主催のポリニ・パースペクティブなどにも多く出演している。これまでに川島正雄、三戸泰雄、山口裕之の各氏に師事。

竹本 聖子 〈チェロ〉たけもと・せいこ

福岡県出身。東京音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。学生時代から作品発表に数多く参加。能楽家 青木涼子による能と現代音楽を掛け合わせたプロジェクトに参加、薬師寺で奉納演奏を行う。川上統の組曲「甲殻」のCD録音及び世界初演、ゼミン・ダリルによる「河原原」他シリーズ、桑原ゆうの無伴奏作品「逢魔が時のうた」改訂世界初演など、ジャンルの垣根を越えた演奏活動を送っている。「淡座」メンバー、「オーケストラ・トリブティーク」首席奏者。